

昭和48年1月13日第三種郵便認可

HSK通巻519号

発行日/2015年6月10日(毎月10日発行)

編集人/白老町手をつなぐ育成会 佐藤春光

北海道白老郡白老町字萩野310-110

TEL(0144)83-3537

会報/225

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

定価/1部100円(会費を含む)

HSK

2015.6月号

ほほえみ



白老町手をつなぐ育成会

いよいよ11年目に入りました

社会福祉法人ホープを立ち上げ、フロンティアの建物が建ってから11年目に入りました。フロンティアの大きな目標の一つが、障がい年金と合わせて食べていける賃金を支払える作業所になることでした。

フロンティアはこの10年間、様々な仕事にチャレンジして利用者の賃金アップに取り組んできました。この5月の決算を受け、6月に利用者の賃金確定を行いました。平均賃金がやっと北海道の最低賃金の4分の1を越すまでになりました。

5月の理事会で利用者の最低賃金を時給130円としましたが、就労継続支援B型事業所だけでみると、この6月の改定で時給150円が最低で、最高は時給620円となりました。それぞれ障がいの違いや程度の違いはあるものの、就労で通所している大部分が、自分の障がい年金と賃金でグループホームで暮らせるようになったのです。親や兄弟からの仕送りがゼロでも暮らせるところまで来たのです。ここからは、本人は勿論家族も当事者の自立を考えて、まずはグループホームでの生活を支援することが大事だと思います。社会福祉法人ホープも、働く場や仕事はかなり改善されてきましたので、これからは生活の支援に力を入れていこうと思います。

現在、グループホームが満員で待機者がいることから、今年度から計画的に増やしていこうと考えています。まず当事者と支援者が『グループホームに入りたい、入りたい。』と声を上げる事から始めましょう。

東京の弁護士高野範城さんよ！お便りが届きました

冠 省 いつもほほえみを送っていただきありがとうございます。

育成会60年の奥田三郎さんと城戸幡太郎さんの記述をしっかりと読みました。当時の親たちの考えがわかり、参考になりました。

また、城戸幡太郎さんは、私有家永教科書裁判で家永側の証人として尋問を担当し、打ち合わせで自宅まで足を運んだことがあります。長い時間の経過でいろいろな人が関わっていると思いました。

「初心忘るべからず」の気持ちで利用者の生活の安定と援助のために尽力することの大切さを改めて実感しました。

草 々

中古のトラクターをさがしています

(株)ナチュラルサイエンスさんの委託で虎杖浜の原野を畑にすることになりました。

面積は10,000㎡以上ありますので、今までの小さなトラクターでは間に合いません。そこで、中古のトラクターを買うことにしました。100万円位の中古トラクターの良品がありましたらフロンティアまでご一報下さい。

この間の農業分野の事業拡大で、「畑作りは土作り」という言葉がわかるようになりました。ただの荒れ地が畑になっていく楽しさ・うれしさもわかるようになりました。自然との交わりは人間をおおらかにしてくれます。あと2～3年土作りに専念してそこから本格的な農業の域に入っていくことになると思います。

後援会費納入のお願いです

2015年度も4月、5月が終わりました。フロンティア登別もあたふたの時期は過ぎて何とかしなければという時期に入ってきました。アレルギーに対応した鹿肉ハンバーグの試作に時間が取られ、利用者の給料となる営業が遅れています。今年度いっぱいには難しい1年になりそうです。

さて、毎年お願いしています後援会費のお願いです。この後援会費がホープの借入金の返済となったり、新しい分野へのチャレンジの資金となってきました。もちろん会報の印刷や送料にもなっています。

フロンティアを創るとき、会報を1000部発行することを目標としました。現在1200部郵送しています。障がい者が住み慣れた地域で普通に暮らし続ける事が出来るように願っての行動でした。ですからこの会報はかってに送っている場合もあります。それでも皆さんからの支援が大きな力となっているのも事実です。

これからも社会福祉法人ホープの願いと後援会員の皆さんの願いが重なり合って進むことを願っています。納入を待っています。

平成26年度決算が出ました

社会福祉法人ホープの平成26年度決算理事会が、5月24日(日)フロンティアで開かれました。詳しくはホームページを見ていただければ出ています(ホープ・フロンティアでホームページが開けます)。数字に弱い事務局からおおまかに報告させていただきます。

フロンティアは	就労支援の事業活動の収入が	43,288,408円
	支出が	43,490,342円
	福祉事業活動の収入が	92,385,788円
	支出が	79,345,238円
	施設整備等の収入が	63,909,400円
	支出が	107,318,612円
	財務活動(借入等)の収入が	38,000,000円
	支出が	3,983,400円
		3,446,004円
ほのぼの荘は	収入が	31,900,616円
	支出が	25,680,051円
	財務活動(借入金返済)	3,804,000円
		2,416,565円
本部会計は	収入が	862,446円
	支出が	740,075円
		122,371円

※ 皆さんのご協力のおかげで、今期は若干ですが黒字となることができました。本当は建物の修理費の積立なども行えるとベストなのですが、フロンティア登別の建設等出費が多かったことを考えれば贅沢は言えません。

7月4日(土)、15時~白老コミセン大ホールで文化を通して育ち合う会主催白老町手をつなぐ育成会共催で、たいこ劇団『ひのき屋』の公演を行います。小学校・中学校・高校・障がい者は無料です。この日までに会員になると、12月開催の『こびし座』公演も無料になります。申込みはフロンティアまでです。

ふろんていあ♡メール
Frontier

就労支援施設
フロンティア♡MAIL

2015年6月号

〒059-0922
白老町萩野 310-110
TEL・FAX 0144-83-3537

㈱ナチュラルサイエンスからの依頼

㈱ナチュラルサイエンス社より依頼を受けているカレンデュラ花の栽培が今年もはじまりました。

5月26日ナチュラルサイエンス社の社長が来町しカレンデュラ花苗植祭をナチュラルサイエンス社長ほか社員数名とフロンティア職員及び所員と一緒に行いました。

今年は昨年の3倍の苗を植える予定をしています。



薬草茶始めました〜♪

昨年の秋からフロンティアでは薬草茶作りを初めました。

昨年はエント茶を作りそれを、アイヌ民族博物館内のカフェリムセで販売したところ、思った以上の反響があり、作ったお茶が完売してしまう程でした。

今年は5月・6月の半月位の間しか採取出来ない、イタドリを葉を集め水洗いして、熱いハウスの中で乾燥させ手で揉んで粉末状態に成るまで揉んでから、焙煎してイタドリ茶の出来上がりです。



春はイタドリ茶作り、秋はエント茶作りで、所員の仕事作りにも役だつと思います。

ちなみにイタドリ茶は沢山のデトックス効果があるとされています。

販売先はフロンティア、フロンティア登別、カフェリムセ、喫茶ハーモニー(登別)、茶連慈、エガオ、エスパスで販売しておりますので、宜しくお願い致します。



イタドリの入浴剤も好評発売中

2015年度 第26回牛肉まつり開催

白老町の一大イベントの牛肉まつりが6月6日(土曜日)・7日(日曜日)に開催されました。今年も盛大に行われました。

晴天にも恵まれ入場者数も昨年の倍近い5万5千人との発表がありました。フロンティアもテントが2張りから1張りとなり売上げが心配されましたが、入場者数に助けられ、昨年以上の売上げがありました。

前日からの準備、当日の販売など沢山の職員、所員の皆さん大変お疲れさまでした。

来年も天候に恵まれますように…!!



リサイクルまつり15'in 登別・白老

今年も7月5日(日)登別クリンクルセンターでリサイクルまつり15 in 登別・白老が開催されます。時間は10時～14時です。

フロンティアでは、もちもちドーナツ・ソフトアイス・鹿肉ざんぎを販売しますので、是非お越し下さい!沢山の来場をお待ちしております。

これから夏に向けてフロンティアの外販はまだまだ続きます!

いきいきと楽しく働く場をめざして

2015年6月号

フロンティア登別通信

〒059-0463

登別市中登別町88-2

TEL/FAX

0143-83-7878

開所してから2か月が経ちました。

フロンティア登別が開所してから丸2か月が経ちました。13人の仲間たちと共に元気にスタートしましたが開所式、開設記念コンサート、ゴールデンウィーク営業…あっという間に月日が過ぎた感じがします。ここまで来られたのは、これまでフロンティアを応援してくれた人たちや新たに出会った地域の人たちになど様々な人たちに支えられた結果だと思えます。また、フロンティア登別が開所して間もなく登別市障害者福祉関係団体連絡協議会さんや白老町手をつなぐ育成会さんからの寄付をいただきました。(株)アール・アンド・イーさんからは施設の周りの地面がぐちゃぐちゃだったとき、整地するための砂利を無償で提供してくれました。本当にありがとうございます。みなさんの期待に応えられるよう職員・所員一同これからがんばって元気に働く姿を発信していきたいと思えます。これからもよろしくお願ひします。

鹿バーグ(ユクバーグ) 販売開始!!

鹿肉のハンバーグ工房をはじめると謳っていたがなかなか販売に至っていなかったハンバーグをやっと発売することになりました。様々な困難を乗り越えて完成したハンバーグは、肉に鹿肉のみを使用し原材料にエビ、カニ、小麦、そば、卵、乳、落花生を使用せず幅広い人たちが安心して食べることができる鹿肉のハンバーグです。袋に切れ目を入れてレンジで700W・2分間かけてソースやケチャップなどをお好みでかけて食べていただく冷凍食品です。(おすすめの食べ方は煮込みハンバーグです。)どうぞお試しください。



「ユク」とはアイヌ語で「鹿」の意味。

天然のエゾシカを使ったハンバーグ・テイストです。

ウポポ祭り開催シマース(^.^)♪

ハンバーグの販売も開始し、中登別も暖かくなり過ごしやすい季節になってきました。そこでフロンティア登別では、夏のウポポ祭りを開催します。鹿肉ハンバーグはもちろん、ハンバーガーやフライドポテト、鹿肉ジンギスカンなどのメニューや子供さんが楽しめるソフトアイスやわたあめなど。企画として鹿肉から揚げや椎茸の詰め放題、ジェルキャンドル製作体験教室なども計画しています。登別手をつなぐ育成会さんの喫茶店ハーモニーとの連携で登別名物「閻魔焼きそば」も販売予定です。みなさんどうぞおこしくください。お待ちしております。

6月28日(日)

10時~15時

フロンティア登別にて

開催します!

みんな来てね♥♥



生活日用品ありませんか?

ご自宅に使う予定のない未使用のタオルまたはバスタオルやシャンプー、リンスなど生活日用品はありますか? フロンティア登別では生活支援などに利用する生活日用品を募集します。おうちの片隅で使う予定もない未使用のものがありましたらご一報いただけると嬉しいです。

連絡先 フロンティア登別 登別市中登別町88-2

(TEL 0143-83-7878 担当: 山田)





HSK ほほえみ

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可
発行日 2015年6月10日発行(毎月10日発行)
HSK通巻番号519号
編集人/北海道白老郡白老町字萩野310-110
白老町手をつなぐ育成会 佐藤 春光
TEL 0144-83-3537
会報/225号
発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)
定価/1部100円(会費に含む)